

## 宇野千代



岩国市  
(1897～1996)

宇野千代は、日本女流文学界の巨星、  
尽きることなく咲く大輪の花であった。  
日本有数の著名人・尾崎士郎、東郷青児、  
北原武夫と結婚。川端康成、梶井基次郎、  
萩原朔太郎、三好達治らとも親交があっ  
た。

純粹一筋ゆえの愛の遍歴が強靱なバネ  
になって、「おはん」「風の音」などの  
名作を生んでいった。晩年は、人生の試  
練に苦悩する男女に、体験を生かした名  
指南役を果たした。  
(元島祥次)

## 【主な著作】

『色ざんげ』(中央公論社、昭和10年)

『おはん』(中央公論社、昭和32年)

『生きていく私』(毎日新聞社、昭和59年)